

株式会社アクト石原

あらゆる素材を知り尽くした
トータルパッケージ業

海外発注可
期相
企画力
自信有
コスト相
談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



自動化設備により生産性を追求した段ボール工場

業務内容

あらゆる素材のパッケージが
ワンストップで揃う

物流梱包やパッケージの企画・製造・販売を行うアクト石原。同社が扱う製品は、いまだ特定の分野においては根強いニーズがある木製の箱やパレット、さらに、そのデザインや質感が売れ行きを大きく左右する食品の紙製パッケージや、部品を積んで発注工場と受注工場の間を行き来するオーダーメイドの樹脂製通い箱等、極めて多岐にわたる。

顧客ニーズに合わせて、これらのアイテムを選択したり組み合わせる……従来の製函業や段ボールメーカーとは一線を画す「トータルパッケージ業」が、同社が標榜する企業像である。

強み

素材基点の生産活動と
顧客基点の営業活動

さまざまな素材で包装用・物流用の箱やケースを提供している同社だが、その中には、段ボールのように設備のレベルや能力に高く依存するものもあれば、作業者自身のスキルに負う部分が大きいものもある。同社では、木、紙、樹脂と、素材別に工場を構成し、品質と生産効率の観点からそれぞれ理想的な生産現場の在り方を追求している。

一方、営業現場はそれと対照



大型打抜き加工に対応するプレス機

的だ。素材や製品ありきではなく、顧客との対話の中から得たニーズや事業特性を考慮した上で、自社の資源を最大限に活用した、最適なパッケージング企画を提案している。

新展開

新たなグループ会社と
新たな製品が活躍

平成23年には、以前から取引関係のあった印刷会社をアクト石原グループに迎え、コートボール紙を用いた化粧小箱の完全内製化が可能になった。

また、樹脂素材及びその加工成形のスペシャリストとして、従来の枠に囚われない事業にもチャレンジしている。他社との協業により、PP素材を用いた段ボールを壁材とした簡易仮設トイレキャビンを開発。

平成21年に経済産業省中小企業庁の新連携事業にも認定された同製品は、災害備蓄、工事現場、農業、レジャー等、さまざまなシーンで使用され好評を博している。

海外

アジア5か国に
販売・生産拠点を展開

同社は、平成4年にシンガポールに現地法人を設立したのを皮切りに、積極的かつ着実にアジア諸国への進出を進めてきた。

現在は、シンガポール及び香港に販売拠点、マレーシア、フィリピン、タイに生産工場を設けている。いずれの拠点においても日本人スタッフが常駐しており、これらの地域に進出している日系企業に対して、日本国内同様の、柔軟できめ細やかなサービスが提供できる体制を有している。

COMPANY PROFILE

株式会社アクト石原

大阪24 ISO 9001

当社の
歴史

当社の事業は、90年近く前に木製品からスタートしました。戦後は、日本経済の成長と連動する形で、紙及び樹脂へと扱う素材の幅を広げつつ、生産量も大きく増やしてきました。経済が成熟し低成長時代となった1990年代前半に、より主体的・能動的な企画提案力のある企業を目指すべく、現在の「アクト石原」へと社名を変更しました。その姿勢は今も変わりません。

先端設備に支えられた技術力と個性を活かした
人材力の相乗効果が当社の武器です。

代表取締役社長 石原 樹夫さん



■主な事業内容

包装用・運搬用の木製・紙製・樹脂製の箱・ケースの製造・販売等

■主な取引先(納入先)

食品メーカー、飲料メーカー、医薬品メーカー、自動車部品メーカー、家電部品メーカー、総合商社、建材商社等

住所／〒569-0021 高槻市前島3-12-1
TEL／072-669-5555
FAX／072-669-5561
創業／大正13年5月
設立／昭和27年9月
資本金／9,910万円
従業員／100名

<http://www.act-i.co.jp>